

はちのへプラン 2006 実施計画（前期）推進状況調査の概要

1 調査の目的

はちのへプラン 2006 実施計画（前期）に掲載されている事業の推進状況を調査し、男女共同参画に関する施策の総合的な推進に資する。

2 調査対象事業

平成 18 年度に実施した事業 全 130 事業（26 課）

3 調査期間

平成 19 年 7 月 12 日（木）～8 月 3 日（金）

4 調査内容

はちのへプラン 2006 実施計画に登載されている事業の「指標」「実施状況」「計画の達成状況」「男女共同参画の視点の導入状況」について、担当課からの報告により把握する。

5 指標（目標値）の設定

事業担当課が推進状況を評価するための基準となる各事業の指標（目標値等）を設定する。

（前期計画期間：平成 18 年度～平成 20 年度までの 3 か年）

6 評価方法

単年度評価とし、次の手順で評価する。

<内部評価>

①第一次評価・・・事業担当課が実施状況等をまとめ、指標を基準とした自己評価を行う
（全 130 事業）

②第二次評価・・・男女参画国際課が第一次評価結果に基づき評価を行う（施策の方向 41 項目）

<男女共同参画審議会からの意見>

第一次評価、第二次評価の結果を踏まえ、基本目標 4 項目とその課題、数値目標達成のための取り組み状況について、審議会委員からの意見を取りまとめる。

<評価項目と評価基準>

別表 1 のとおり

7 調査方法

別紙様式をメールの添付ファイルで各課に照会し、各課からはメールの添付ファイルとして回収する。

8 調査結果

調査結果は報告書として作成し、男女共同参画推進会議、同幹事会並びに男女共同参画推進庁内委員会に資料として配布する。また、男女共同参画審議会には年次報告として提出する。

概要は、市のホームページに掲載するほか、情報誌や報道機関などを通じて公表する。

別表 1

<評価項目と評価基準>

区分	評価項目	評価基準
第一次評価 (事業担当課による評価・130事業)	実施状況	A 実施した B 検討したが実施には至らなかった C 検討も実施もしなかった D 17年度で廃止した ※事業の統廃合があった場合、統廃合前の事業は全て「D」とし、統廃合後の事業を新規事業とすること。 その際に、事業番号の欄に「新規」と記入し、必要事項を記入して評価すること。
	計画の達成状況 (各課で定めた指標を基準とする)	a 計画以上に達成できた b ほぼ計画どおり達成できた c 計画には及ばなかった ※上記実施状況で「A 実施した」と答えた実施事業についてのみ記入すること
	男女共同参画の視点の導入状況 (複数選択可)	① 事業の対象者となる人々の現状やデータを男女別に把握した。 ② 事業の企画、立案、実施にあたり、男女双方の意見を聞き、女性と男性の視点が実施事業に盛り込まれるようにした。 ③ 講師等の人選について、男女のバランスに配慮した。 ④ 事業実施の曜日や時間帯、託児室の設置、手話通訳者の配置、Web ページの活用など、年代、性別を問わず参加・利用しやすくなるように工夫した。 ⑤ 事業の効果が男女どちらか一方に偏らずに寄与された。 ⑥ その他 (①～⑤に該当するものがない場合に選択。内容を具体的に記入すること) ※①～⑤のいずれかを選択すること。特に配慮した点などがある場合は、その内容を具体的に記入すること。
第二次評価 (男女参画国際課による評価・施策方向41項目)	実施状況評価	第一次評価結果に基づき、下記基準により評価を行う。 ☀☀☀ : 順調に取り組まれている $70\% \leq [A a + A b]$ の割合 ☀☀ : 概ね取り組まれている $50\% \leq [A a + A b]$ の割合 < 70% ☀ : より積極的な取り組みを期待する $[A a + A b]$ の割合 < 50% ☂ : 早期に取り組む必要がある $[A a + A b]$ の割合 = 0% ※ $[A a + A b]$ の割合 = $(A a + A b / A a + A b + A c + B + C) \times 100$ <評価コメント> ☺ 評価できる事業実施状況 ☹ 今後の課題